

2018 年度 F D 活動報告

高等教育推進機構

1 F D 活動の実施体制、取り組みの概要			
・ 機構 FD 委員会が機構全体の FD 活動を実施するとともに、科目グループごとに教育改善のための話し合いと実践を行っている。			
・ 本年度は機構独自の FD セミナーを実施し、多数の機構所属教員が参加した。			
2 F D に関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況			
開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
9 月 19 日	高等学校での教育・学習の今を知る	セミナー	59
3 F D に関する会議、委員会の開催状況			
会議・委員会名	内容	回数	委員数
機構 FD 委員会	機構全体の FD 活動を企画、実施	7	9
初修外国語グループ 定期会議	FD に関する情報交換と議論	5	7
健康・スポーツ 担当者会議	授業展開、採点基準、学生対応について協議、積極的な FD 活動の促進	2	9
数学・専門基礎科目 ミーティング	授業の進め方、成績評価の仕方、試験内容などの話し合い	1	参加者 約 15
4 F D 活動への各教員の参加状況			
※ 前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。			
教員数（実数）	33 人 / 59 人中		
5 ピア授業参観実施状況			
期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	9	6	・ 機構長教育奨励賞受賞者に授業公開を依頼し、積極的に案内した。
後期	9	0	
年度合計	18	6	
6 その他取り組みの具体的実施状況			
・ 高等教育推進機構で開設している全科目を対象として、ポートフォリオ（授業ふり返り）データを基に、優れた授業を実践している 10 名の先生方を選出して機構長教育奨励賞を授与した。学生の学びと理解を促しているかどうかを判断材料に加えることにより、学生の満足度に偏らないような選考方法とした。			
・ 機構開設科目の GPC について、科目グループごとに検証作業を行い、機構 FD 委員会で報告した。			

《科目グループによる活動》

＜教養＞

- ・教養連絡会議において、成績評価（GPC）について教員間で情報を共有し、特に問題が無いことを確認した（2回）。
- ・初年次ゼミナールの成績評価（GPC）についてマネージャー3名で情報を共有した。

＜英語＞

1. A graduate-level English Academic Writing course was offered in semester one to graduate students and junior researchers with the aim of improving their advanced research writing skills in English.
2. Implementation of TOEIC testing for first- and second-year students in April and December 2018; Data was collected and student performance was monitored.
3. In addition to the regular curriculum a TOEIC test preparation course was held.
4. Information briefing sessions for Part-time Staff were held during the year: A departmental part-time teacher's meeting was held one week before the start of the semester in April 2018.
5. Informal and voluntary gatherings between part-time native English-speaking teaching staff are usually held three times each year. Firstly, after the departmental part-time teacher's meeting which is held one week before the start of the first semester; secondly, as a social gathering in July and in January, at the end of the second semester.

At each of these gatherings teachers have a chance to raise, discuss and exchange ideas on the development of teaching practices leading to writing and presentation outcomes of the semester, along with personnel issues relating to student welfare and classroom management. Further to these meeting, teachers regularly gather at lunch times on teaching days where they are able to discuss and share ongoing teaching practices and other related issues throughout the semester.

6. The English Cafe program is offered to all OPU students for 90 minutes, twice a week on Tuesdays and Fridays for eight weeks in both the Spring and Fall semesters. This program provides an opportunity for students of all abilities to develop their English language communication skills and confidence in an informal setting. The English Cafe program is facilitated by three excellent teachers and four enthusiastic student teaching assistants who encourage and facilitate conversation. This program features both teacher and student presentations on a wide range of topics including study, educational topics,

travel, culture, hobbies and interests that all assist in building and creating well-rounded English language abilities. It also features games, quizzes, a Christmas party and other activities that encourage student interaction. Students attending include international students visiting OPU, students from Habikino and Rinku Town campuses, students visiting from other Japanese universities, and members of the public.

7. A range of seminar courses in academic writing, advanced academic reading, presentation and speaking, media English, intercultural communication and exam practice for English Proficiency Tests were offered to further improve students' English ability.
8. Pre-departure Orientation courses were offered for students attending intensive English Language Study Abroad Programs in the USA, UK and Australia. Study Abroad Guides were produced for the programs at Monash College, Australia, University of California Irvine in the USA, Concorde International in Canterbury, UK. Research is on-going into maximizing the experience overseas for students participating in these programs. Post-return presentations were conducted for students returning from the UK and the USA and Australia, and students completed a report and evaluation of their experiences.

<初修外国語>

H30 年度に初修外国語グループの教員教育能力向上はもちろん、授業時間外学習時間増、授業改善を初修外国語 FD の目標とした。これらの目標にそって、中国語の場合は下記の具体的な活動があった：

- ・ 授業で使用されている教材のブラッシュアップ
- ・ ICT を活用した教材の使用（音声付き教材、音声入力、学生による動画作成）
- ・ 新入生に対する初修外国語概要とカリキュラムを説明するパンフレットの配布
- ・ 1 年次終了時に 2 年次の中級クラスを紹介するビラを配布
- ・ 授業支援システムを利用して自習用教材を配付
- ・ 検定試験の情報提供と検定試験受験の支援
- ・ FD セミナーに参加
- ・ メーリングリストを通じて非常勤講師に教育力向上に役立つ情報を提供

初修外国語グループの定期会議で FD に関する情報交換と議論

他の言語（独・仏・朝）もそれぞれ似たイニシアティブがあり、初修外国語グループの定期会議で FD に関する情報交換と議論が行われた。

<健康・スポーツ科学>

- 1) 健康・スポーツ科学概論、教養科目、教養展開科目、CR 副専攻科目の講義科目については、受講生が生涯にわたる健康に関する知識や実践力を獲得できるよう、各教員が個々の専門領域を中心として講義を行った。また課題の提示などで「授業外学習」を促進するよう働きかけを行った。
- 2) 健康・スポーツ科学演習科目は、受講生からの要望に対応した授業展開、設備・教材などの整備を行った。その結果、充実した授業展開ができ、受講生からも高い評価を受けた。グラウンドの整地整備を実施し、安全な授業の展開に努めた。これらのことから、安全な演習の実施と雨天時の施設利用が可能となり、十分に授業目標を達成できることとなった。
- 3) 担当学会議の中で、授業展開、評価基準、学生対応について協議し、積極的な FD 活動の促進を行った。
- 4) 平成 30 年度機構プロジェクト型研究として『姿勢制御評価・トレーニングシステム機器の開発』を行った。受講者に生活活動とバランス機能との関連を理解させるとともに自身のバランス能レベルを把握させることで、最近課題とされている高齢者の転倒防止の科学的理解を深めることができた。

<理科>

- ・ SEL 教室：引き続き、接続教育教材を提供した。
- ・ 科目運営、成績評価：

担当教員間の情報交換をおこない、授業を実施した。

成績評価について教員間で情報を共有、協議して公平性を確保しつつ評価を行った。

学生の学習動向に注意を払い、情報を共有し、学生の自主的・自律的な学習を促した。

学修に困難を抱える学生について、担当教員間で情報を共有して、対処をおこなった。

同一学類で複数クラスを開講している講義科目について、評価の公平性を確保するだけでなく、講義内容も同一とするための方策を検討した。
- ・ 学生実験：

前年度に実験機器の更新、新たな導入した機器を用いた実験テーマを実施した。

引き続き新しい教材の開発、機器の更新を行った。

同一学類で複数クラスを開講している実験科目について、評価の公平性を確保するだけでなく、実験指導内容も同一とするための方策を検討した。

<数学>

- ・ 専門基礎科目ミーティングを実施し、授業の進め方、成績評価の仕方、試験内容などについて話し合った。
- ・ 数学質問受付室を設けた。
- ・ 現代システム科学域・知識情報学類の解析学基礎Ⅰの教科書を平易なものに変更した。
- ・ 現代システム科学域の基礎数学Ⅰ・Ⅱで紙による課題のほかにオンラインによる課題を導入
- ・ 線形代数の再履修クラスで到達目標達成度を測るテストを行った。